

食品ニューテクノロジー研究会 2016年10月例会 ユーグレナの栄養機能性とその応用

日時 : 平成28年10月17日(月) 13時30分～

会場 : アキバプラザ 7階 EXルーム <千代田区神田練堀町3>

参加費 : ￥16,200(税込) 食品ニューテクノロジー研究会 会員無料

【座長:】 辻 啓介氏 東京栄養食糧専門学校 学院顧問

ヒトはすごい雑食性で、地球上に棲息する動植物を片端から食べつくす勢いです。今世紀の初めに60億人とされた人口は今では73億人を超え、年に7千万人ずつ増えている。主な食資源としての穀類は、ほぼ22-23億トンとれるが、それだけでは食糧不足問題が顕在化することは必須です。新食資源として、過去にはクロレラやスピルリナが研究され、細々と食べられているが、それでは人類救済には程遠いことは明白です。新食資源としてのユーグレナは、過去5億年の歴史をもつ生物であるが、動物と植物の両方の特徴を有するユニークな単細胞生物です。先程の2種の単細胞生物よりも栄養機能的に優れた特徴があり、今回2名の著名なユーグレナ研究者により詳細な研究結果が紹介されます。果たして、20万年の歴史を持つヒトの食資源や機能性素材として、ユーグレナは有望か否か、興味を持たれるデータが示されます。ぜひご来聴下さい。

【講演I】 13:40～14:50

「ユーグレナ研究の歴史と機能性 —健康寿命延長から宇宙食への可能性—」

大阪府立大学 地域連携機構 生物資源開発センター

名誉教授・客員教授 中野長久氏

高濃度炭酸ガス気下(40%CO₂)までの環境下で光合成が可能で、それを炭素源として、水中を動き回りながら増殖するユーグレナ(*Euglena gracilis*, 和名;ミドリムシ)は単細胞光合成生物として、動物では原生動物(仲間にはテトラヒメナ、アメーバがある)、植物としては緑藻類(仲間にはクロレラ、クラミドモナス)と動物と植物界両方に分類される唯一の生物である。

この非常にユニークな性質をなぜ保有するようになったのか、そしてユニーク故に古来から地球の環境変動の中で生き残り、ヒトの健康機能にまで影響し得る特殊機能を持つ生物であり得ることを概説する。

<プロフィール>東北大学大学院 農学部 農芸化学研究科 修士課程修了 農学博士(東北大)。島根大学農学部助手、大阪府立大学農学部 農芸化学科助手、講師、助教授、教授。退官後名誉教授、客員教授(現在)。甲子園大学 栄養学部教授、大阪女子短期大学学長を兼任(2015年3月退任)

<著書>The Biology of Euglena (Academic Press)、ユーグレナ—その生理と生化学 (学会出版センター)、スポーツと栄養と食品 (朝倉書店)、Methods in Enzymology (Academic Press)、Food Factors for Cancer Prevention (Springer-Verlag)、食を楽しむ健やかに生きるために (光生館)、ビタミン総合辞典 (朝倉書店)他10編

研究論文;ユーグレナに関するものを含めて311編。

【講演II】 15:00～16:10

「ユーグレナの機能応用と商品開発」

株式会社ユーグレナ 研究開発部長 取締役 鈴木健吾氏

(株)ユーグレナは、和名はミドリムシの名前で親しまれるユーグレナの大量培養を事業の柱に据える東京大学発のバイオテクノロジー企業である。現在、沖縄の石垣島においてユーグレナの生産を行い、ライフサイエンス分野の食品及び化粧品を事業化して日本で年間100億円超のマーケットで事業を展開する。その研究開発と事業化の現在に至るまでの経緯と将来の構想について論ずる。

<プロフィール>東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。2005年東京大学在学中に(株)ユーグレナの設立に創業者として携わり、研究開発担当の取締役として就任して現在に至る。

【座長まとめ】 16:10～16:30

お問い合わせ先:

日本食糧新聞社 (食品ニューテクノロジー研究会) 中山清美
〒105-0003 東京都港区西新橋2-21-2 第一南桜ビル7階
TEL03-3432-4664 FAX03-3459-4654 携帯090-3146-7995

ユーグレナの栄養機能性とその応用

食品ニューテクノロジー研究会

10月17日申込書

FAXで03-3459-4654までお申し込み下さい。

- ◇ お申込み後、請求書をお送りいたします。
- ◇ 受講票は発行しておりません。

会社名	
住所	〒
電話	
FAX	
お名前	部署／お役職

会場案内

富士ソフト アキバプラザ



〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3

富士ソフト秋葉原ビル 7階 EXルーム

TEL: 03-5209-6285

※ ファリマーマート前のエレベーターで7階にお上がりください。



次回

11月14日(月) 13:30~ 芝パークホテル

『新機能性食品素材の新たな開発・生産法』

座長：国際生命科学研究機構 事務局次長 平川 忠氏

講師：慶應義塾大学 環境情報学部先端生命科学研究所 板谷光泰氏

日本水産(株) 東京イノベーションセンター 山下伸也氏

◎ セミナー情報 <http://bit.ly/Ke3If3>

◎ セミナー申込 <http://bit.ly/1cSZRck>

提供いただきました個人情報、当該業務および当社からのご案内を目的として利用します。なお、個人情報を当該業務の委託に必要な範囲で委託先に提供する場合や関係法令により認められる場合などを除き、お客様の許可なく第三者に提供することはありません。